

46. とうかいどう 東海道—すずかとうげごえ 鈴鹿峠越

選定箇所：関宿～鈴鹿峠（三重県亀山市）～土山宿（滋賀県甲賀市）

概要：東海道47番目の宿場町である関宿から、難所で知られた鈴鹿峠へ至る道である。江戸から京へ向かう東海道は、鳥居が立つ東の追分で伊勢別街道を分岐させ、そこから関宿の町家群（重要伝統的建造物群保存地区）を抜けていく。関の地蔵で知られた地蔵院（重要文化財）を過ぎ、西の追分で大和街道を分岐すると、登り坂にかかる。坂下宿を経て鈴鹿峠まで至る坂の途中には、石畳の敷設された箇所もあって、近代以前の面影を良く遺している。

